

日時：4月27日(土)、15:30～18:00

場所：千葉市生涯学習センター 大会議室

テーマ 『卒後教育！ 新人さん日直さんに教えたい血液検査のビットホール』
ミニミニ講義 教えて研究班シリーズ

「凝固検査追加項目 限界時間～アンケートに寄せられたご相談より～」

千葉大学医学部附属病院 検査部 仙波利寿 技師

講演1 「最初のステップ！ 二級臨床検査士になろう」

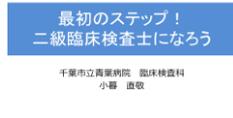
千葉市立青葉病院 臨床検査科 小暮 直敏 技師

講演2：「認定血液検査技師の紹介と対策について」

千葉県救急医療センター 検査科 長津 知嗣 技師

特別講演：「超わかる！ 日常検査で経験する血液検査のビットホールと対策」

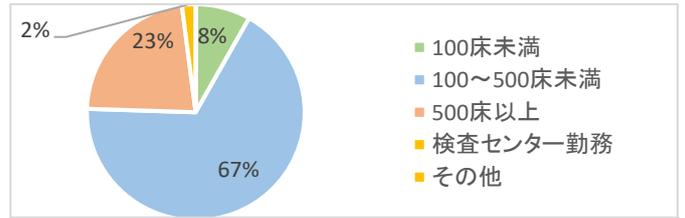
順天堂大学浦安病院 臨床検査医学科 澤田 朝寛 技師



アンケート結果(回答49件)

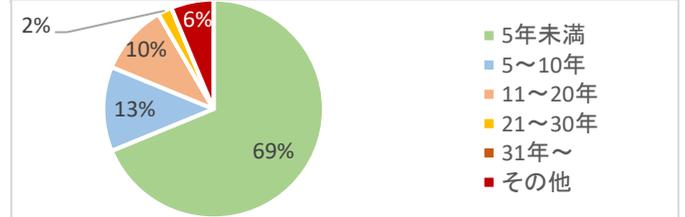
1. あなたの勤務先の病床規模はいくつですか？

100床未満	4
100～500床未満	33
500床以上	11
検査センター勤務	1
その他	0



2. あなたの血液検査経験年数は何年ですか？

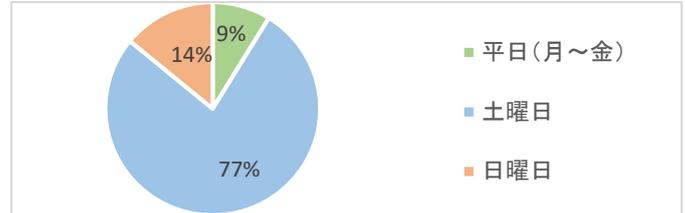
5年未満	33
5～10年	6
11～20年	5
21～30年	1
31年～	0
その他	3



3. 研修会開催について、ご希望の曜日または時間はありますか？

平日(月～金)	5
土曜日	44
日曜日	8

・土16時(1)



4. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか？

(1)大変有意義だった	34
(2)有意義だった	13
(3)まあまあだった	1
(4)もの足りない	0
(5)非常に不満足	0

- ・偽高値、偽低値のときの対応などとても勉強になりました。
- ・事例をあげて説明して頂けたのでとても分かり易かったです
- ・今の私にはまず何が出来なければいけないのかを考えられた。
- ・二級試験と認定血液の意義や難易度を知ることができ、是非取得したいと思ったから。
- ・当直でのみ血液検査を担当するので、ありがたい事例を教えてくださいありがとうございます。
- ・新人向けのビットホールは改めて知識の再確認になった。
- ・当直で役に立つ知識が沢山あった。
- ・初めて参加しました。皆さん分かり易い発表で楽しかったです。
- ・何年も血液の担当していないものにも分かり易かったです。
- ・二級試験受験予定なので参考になりました。
- ・資格試験の講演を聞く機会がすくなく良かった。
- ・1回目の研修会として、新人さんへ伝えたい良い内容だったと思いました。
- ・資格試験の内容は分かり易かった。
- ・澤田さんの講演は基礎的でルーチンに役立てて良かったです。
- ・動画がとても分かり易かった。



5. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか？

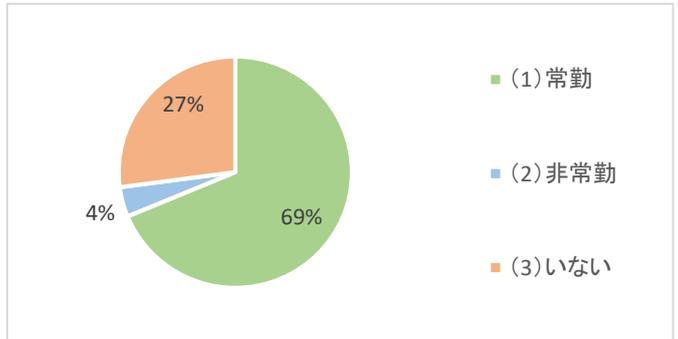
(1) 大いに活かせると思った	40
(2) いくらか活かせると思った	7
(3) ほとんど活かさないと思う	0

- ・当直で活用したいと思います。
- ・MCHCの考え方にはっとさせられた。
- ・詳細にピットホールの対処の仕方について聞くことが出来参考になりました。
- ・血小板の凝集、フィブリンの析出など凝集を疑うときに未染色でみていて、見づらい見つけにくいと思うときがあり、今回カバーガラス法というのを知って、今後試したいと思いました。
- ・血小板が偽低値になってしまうが、時間を置いてみると上昇していくという症例がうちの施設でもありました。その時は一回目と二回目(三〇分後)の値を臨床に返していましたが、次回出会ったときはもう少し違ったアプローチを考えたいと思いました。
- ・すぐに活かせるものと、難しいものとありました。
- ・凝固検査に連心条件があったなんて知らなかった。
- ・実習生に教える良い教材になりました。
- ・初心に戻って学ぶことが出来ました。
- ・各項目、ポイントを押さえていて大変分かり易かったです。



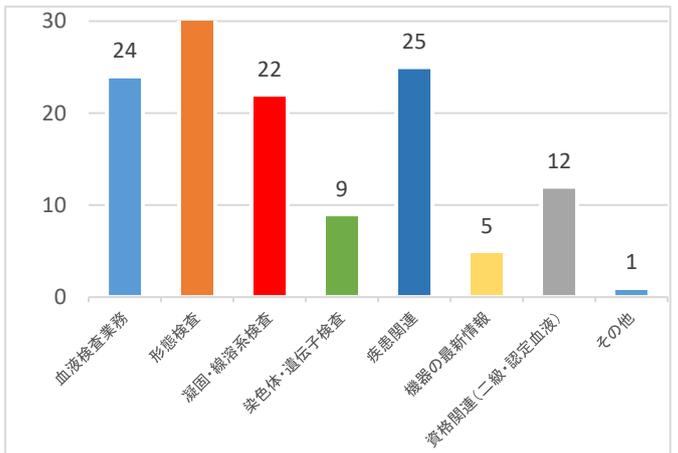
6. ご施設に血液内科を専門とされている医師は勤務されていますか？

(1) 常勤	33
(2) 非常勤	2
(3) いない	13



7. 今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものはなんですか？(複数回答可)

血液検査業務	24
形態検査	36
凝固・線溶系検査	22
染色体・遺伝子検査	9
疾患関連	25
機器の最新情報	5
資格関連(二級・認定血液)	12
その他	1



8. 今後、希望する研修会テーマやなにか日常業務でお困りなことはございますか？

【希望テーマ】

- ・疾患と形態
- ・骨髓、末梢血で珍しい症例の紹介をしていただきたいです。
- ・緊急検査士の紹介と対策について
- ・形態学の基礎
- ・当直時に対応できるような機器トラブル対応(ただの試薬交換でも"え"って思います)
- ・二級、認定についてもっと詳しく知りたいです
- ・症例報告など血液疾患のみならず、臨床全般も。
- ・2級試験の実技対策の講習があれば良いと思いました。
- ・基礎的な凝固検査
- ・フローサイト認定についての資格内容

【日常業務で困っていること】

- ・電子カルテではないため、患者の情報はこちらが気が付いたときに問い合わせるしかありません。データを見逃さないために必要なことが難しいです。何かPOINTがあるでしょうか？
- ・大小不同のアラームが良く出ますが、何か対応(検体処理)はしたほうが良いですか？
- ・小児科の先生は血算の採血量がかなり少ないです。採血である程度の量が取れても、生化学や保存(血清)に提出しています。何か追加項目(生化学or外注)が出た時用だと思えますが、血算用の検体量が少ないとEDTAの影響があると思いますが、他施設はどんな感じでしょうか？
- ・±10%はOKだが、凝固検査で採血が困難な場合、どのようにしているか？1:9の減量法しかありませんか？
- ・化学療法に代表される薬剤による血液データの変化について、全体的に変化するもの、特異的に作用されるもの、その継続変化について把握しておく必要があるのでしょうか？
- ・取違いを見つけたのですが、前回値と比べたり、生化学など他の項目のどこを見て確認とれるのが知りたいです。あと、凝固検査でモニタリングではどのような疾患でどのような薬剤を使っているのか教えてほしいです。(パニック値でもよいです。と返事が返ってくるかがあるので)
- ・血液像の追加を良く行のですが、採血後何分まで可能ですか？また、自動法と目視法では追加可能な時間に違いはありますか？



9、血液検査研究班になにかご意見はありますか？

- ・初めて参加させていただきました。以前勤めていたクリニックでは、看護師さんが血算を転倒混和せずに、測定していてすごい値を出していたことがありました。私も血液部門になって日が浅いので、まだまだ対応できないこともあるのですが、今回参加出来てよかったです。
- ・大変有意義な研修会でした。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。お疲れ様でした。

